

# 令和7年度 東京都立日比谷高等学校学校運営連絡協議会実施報告書

## I 組織

- (1) 東京都立日比谷高等学校 学校運営連絡協議会  
開催方法：対面式会議
- (2) 事務局の構成  
主幹教諭（教務主任兼務）＝事務局長、主任教諭1名、広報担当教諭1名 計3名
- (3) 内部委員の構成  
校長、副校長、経営企画室長、教務部主任、生活指導部主任、進路指導部主任  
グローバル事業部主任、教諭（書記）、広報担当教諭 計9名
- (4) 協議委員の構成  
保護者代表1名、地域代表1名、近隣中学校代表1名、関係機関代表3名、  
学識経験者2名、民間企業1名 計9名

## II 令和7年度学校運営連絡協議会の概要

### (1) 第1回

日時：令和7年5月23日（金）午後3時30分～5時00分

場所：本校会議室

司会：副校長

記録：事務局員

#### <議 事>

- 1 校長挨拶 校 長  
協議委員委嘱及び評価委員委嘱
- 2 委員紹介
- 3 防災教育推進委員会及び宿泊防災訓練実施要領 副校長
- 4 意見交換
- 5 学校の教育活動の現状について 校 長  
令和7年度学校経営計画を踏まえて
- 6 令和6年度学校運営連絡協議会(報告) 事務局
- 7 令和7年度自律経営推進予算について 経営企画室長
- 8 学校概況の報告及び協議  
① 教務部 教務部主任  
② 生活指導部 生活指導部主任  
③ 進路指導部 進路指導部主任  
④ グローバル事業部の取組 グローバル事業部主任
- 9 意見交換

### (2) 第2回

日 時：令和7年10月24日（金） 午後3時30分～午後5時00分

場 所：本校会議室

開催方法：対面式会議

司 会：副校長

記 録：事務局員

#### <議 事>

- 1 校長挨拶 校 長
- 2 防災教育推進委員会 副校長
- 3 学校概況の報告及び協議  
① 学校施設・自律経営推進予算等について 経営企画室長  
② 教務部 教務部主任  
・令和8年度入学者選抜について
- ③ 生活指導部 生活指導部主任  
・行事・生徒会について ・生活指導について
- ④ 進路指導部 進路指導部主任  
・大学入学共通テストの出願について ・3年生の動向
- ⑤ グローバル事業部の取組について グローバル事業部主任
- 4 意見交換
- 5 令和7年度学校評価アンケートについて  
アンケート内容と日程の検討 副校長

(3) 第3回

日時：令和8年3月3日（火）午後3時30分から午後5時00分

場所：本校会議室

開催方法：対面式会議

司会：副校長

記録：事務局員

<議事>

- 1 校長挨拶 校長
- 2 報告 本校の現状と取り組み
  - ① 教務部 教務主任
    - ・令和8年度入学者選抜について
  - ② 生活指導部 生活指導主任
    - ・在校生近況報告
  - ③ 進路指導部 進路指導主任
    - ・令和8年度大学入試結果中間報告
  - ④ グローバル事業部の取組 グローバル事業部主任
    - ・事業報告と来年度に向けて
  - ⑤ 星陵セミナーについて 副校長
- 3 意見交換
- 4 協議 令和7年度学校評価アンケート結果について
  - ① 評価委員会報告 評価委員会 事務局
  - ② 協議
- 5 協議委員評価アンケートについて
- 6 事務連絡

(4) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

第1回 令和7年10月9日（木）午後2時00分から午後3時30分

内部委員 2名、協議委員 1名

学校評価案アンケート「生徒」「保護者」「教職員」「自由記述」Teams及びClassiによるオンラインにより実施する。

第2回 令和8年2月12日（木）午後2時00分から午後3時00分

内部委員 2名、協議委員 1名

学校評価案アンケート「集計結果、分析・検証結果」（案）の質疑、協議、提言

Ⅲ 学校運営連絡協議会による学校評価

(1) 学校評価の観点及び主な評価項目

- ・学校経営 ・学校生活全般 ・学習指導 ・進路指導 ・生活指導
- ・学校行事 ・部活動 ・グローバル事業 ・防災教育 ・読書指導
- ・学習時間 ・ワークライフバランス

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

- ・オンラインにより実施
- ・11月 全校生徒 951名 保護者全員 951名 教職員 64名
- ・回収率 生徒918名(96.5%) 保護者872名(91.7%) 教職員64名(100%)

(3) 評価結果の概要

- ・生徒の92%が入学して良かったと感じ、保護者の97%が満足感を得ている。
- ・アンケートの回収率は、生徒918名(96.5%) 保護者872名(91.7%) 教職員64名(100%)であった。本校への関心は非常に高く、三者(生徒・保護者・教職員)から評価されていると受け止めている。
- ・保護者、生徒、教員とも「全体的に教育内容」を高く評価しており、保護者、生徒の学校への信頼が非常に高いことがうかがえる。

(4) 評価結果の主な自由意見

① 学校経営・学校生活全般について

<生徒>

- ・こうした細かい内容、経営理念といった部分をより全面に押し出していくべきだと思う。学生の私にとっては「教育目標・カリキュラム」のページ下部にひっそりと添付されている、「グランドデザイン」等示された内容が、この学校を志望する重要な決定打となった。こうした細かい内容、経営理念といった部分をより全面に押し出していくべきだと思う。
- ・給水機を修理してください。17アイスの自販機を追加してください。食堂を設置してください。コンビにも設置してください。自販機を各階に設置してください。また、1年から2年に学年が上がる際に、芸術選択が異

なる人とも同じクラスになる可能性がうまれるようにしてください。こんなに要求してすみませんでした。

<保護者>

- ・長い歴史の積み重ねがある日比谷高校。日比谷高校が持つ文化を感じる資料館の公開日が増える事を望みます。日比谷高校に入学するのは大学に行く事だけが目的ではないと思っています。人としてどうあるべきか、どういう人になるべきか、歴代の先輩方から引継ぐ文化を少しでも在校生や卒業生、未来の日比谷生になるかもしれない小学生に広く知ってもらいたいです。
- ・学校発信の情報が少なすぎると感じます。ホームページの「日比谷生の活躍」は載せないなら項目を削除したら良いと思います。在校生やその保護者の満足度に関わりますし、このホームページを見て「日比谷高校を目指したい」と思う方は殆どいないのではと思います。

<教職員>

- ・放課後が少なく、生徒に向き合う時間がとれず、教科の準備が間に合っていない。十分な睡眠時間が確保できない。忙しすぎて職員間の人間関係に影響を及ぼしていると思う。管理職や各分掌のリーダーには、会議を減らすことと時間短縮に、もっと力を入れてほしい。担当者には読めばわかるレジュメ作り、情報の共有方法の工夫などと呼びかけてほしい。一方で、議論が必要なことは時間をかけるべき。
- ・門の掲示を日本語以外で作成・掲示してほしい。外国の観光客？が、まちがって敷地内に出入りしている。
- ・テスト返却用の時間割を作ってほしい。
- ・年間行事予定について、職員会議でも出ていたが、慣例で入れるのではなく見直すべきところは見直して、生徒も教員もより過ごしやすい予定を立ててほしい。
- ・担任が朝Tに出てから1限に間に合わせるの、不可能に近い。毎朝の担任学年打ち合わせ、朝Tがいるのかどうかを検討したほうがいい。(学年のホワイトボード、チームズの活用、1限授業者がしっかりと出欠をとる)時差勤務をとっている先生もいて、それは構わないが、そのために別の副担の先生が勤務時間外に打ち合わせに集まり、クラスに行くのはどうなのかと思う。

## ② 学習指導・進路指導について

<生徒>

- ・授業評価アンケートなどを先生ごとにすべき。教師によって授業のクオリティに差があるが授業評価にあまり反映されない。
- ・冬と秋も講習やってほしいです。ご検討お願いします。有料でもいいです。あと、数学の課題に関してなのですが、秋休みの課題として秋物語を受注してほしいです。ご検討お願いします。

<保護者>

- ・上の子がお世話になっていた数年前に比べて、さらに指導内容が充実しているように感じています(特に数学)。高い進学実績は、子ども達の努力はもちろん、先生方の熱心なご指導の賜物だと思います。授業外でも熱心にご指導いただいていることに心より感謝申し上げます。
- ・1年に2回の三者面談の設定(秋は希望者)先生方が日々多忙かと思いますが、希望者で構いませんので、可能であれば秋にもう一回三者面談期間を設定していただければ、相談し易い環境となるのではと思います。(年間行事予定表などに予め設定しておく予定を調整し易い利点もあります)難しいようであれば、進路決定に関わる3年次だけでも、2回設定していただくと有り難いです。

<教職員>

- ・文理分けしないクラス分け、教養主義という日比谷の柱を守りつつ、3年生での理社を4単位から6単位に増単し、受験に間に合うようにカリキュラム見直すべきと考える。理科は塾に頼るものという傾向は年々強くと感じる。
- ・3年生が進路に関する悩みを担当以外にも相談できるシステムがあるといい。最低でも、担任は約40人と年4回の面談をしているが、面談の前後の準備にかかる時間も必要であり、時間的な余裕がない。

## ③ 生活指導・学校行事・部活動について

<生徒>

- ・生活指導(生徒指導)に関しては、ぶっちゃけ何があるのか分かってないので、なんとも言えません。校門で服装の指導をしている所は見かけるのですが、それ以外に生活指導が何をしているのかよくわかりません。学校からの配布物や学校集会の時に生活指導が担当していることを明白にして透明性を上げてほしいです。学校行事は、色々と言いたいこともありますが、星陵祭と期末試験のタイミングが被っていることについて解せない気持ちがあります。夏休み入る前に試験をやるか、星陵祭が終わった後に期末試験が来るようにして欲しい気持ちはありますが、(二期制という構造上、日程は動かせないのは重々承知ですが、キツすぎるとい意見だけでも知っておいて欲しいです)部活に関しては、加入率は高いものの、課題・塾等で参加できないという人が多いように感じます。
- ・入学する前は、勉強、行事、部活に全力で取り組むイメージで、学校説明会でも説明されていたためそれを期待していたが、クラスが行事に対してやる気がなく、夏休みもクラスの活動に参加している人が少ないように感じた。学校説明会では、入学前と後でギャップが大きくなるように、「行事に対しては本気ではなく、直前で急に間に合わせているだけであり、夏休みはクラスの作業より自分の勉強を優先する人ばかりです」という説明をした方がいいと思う。また、数学の習熟度別の授業を一年生の初めからにした方がついていきやすいと思う。課題が多くて睡眠不足になり、授業が分からず課題が終わらないという負の連鎖が続いていて、生活リズムや家庭が崩れてしまう可能性があるため、少し減らしたり、毎日目安を提示したりしてほしい。教室移動が連続したり五分休みに教室移動があったりすると授業に遅れるので改善してほしい。先生たちが部活はできるだけやって欲しくないなら初めから言ってほしい。塾に通っている人数を教えてください。

い。先生たちは塾を否定していることが多いが、人それぞれなので言及しなくてもいいのではないかな。

<保護者>

・文化祭の準備で夏休みは毎日学校へ行き、準備に頑張っていました。なかには、課題を持って来て準備にあまり参加しない生徒もいたそう。だんだんと、お弁当を残すようになりました。子どもに聞くと、準備が大変で食べられないと。しまいには手付かずで持って帰って来て、捨てる日々が続きました。課題もやらないといけなので、家に帰って来て明け方まで取り組んで、そのまま学校に行く日もありました。

・部活動に顧問の先生が顔を出してくださる事は無く、おそらく活動計画や日頃の活動の関しても関与されていない様子だった。学校行事も、生徒達の取り組みは例年通りの決まり事をただ踏襲するだけで、「何故その準備が必要なのか」「何故変更してはいけないのか」等、鑑みる事もせず、お決まりの「日比谷生は忙しい」というフレーズに親も子も胡座をかき、本質に目をつぶり、ただ例年通りの事をこなすだけにみえる。娘に「何故やり方を変えないのか」「何故皆で話し合わないのか」と尋ねるも、「皆忙しいから面倒くさくなる事は嫌がられる」と言う。特に星陵祭の舞台づくりの為の牛乳パック集めは、完全に親の仕事と化し、生徒達は足りないと言えば、マジックのように空から降ってくるとも思っているかのようである。140年の伝統の良さもある一方で、子供達の思考する理由を奪いかねない。「秩序ある自由」とは、正に的を得た表現だと思う。

<教職員>

・学校行事による生徒の成長に、教職員がもっと積極的に理解したほうが良いです。生徒と活動を一緒にしていない教員や、行動の方法が生徒と友達になっている方がいることは残念です。生徒はほっといても伸びるなんて考え方をしているのならば、それは教育の放棄だと思います。生徒はどの先生が力を伸ばしてくれるのか見切っていて、その力を伸ばしてくれる先生に対してしか本気でぶつかってこないです。そして、そのぶつかってきたことを取り上げて、教師の指導方法を「問題だ」と叫んでいる教師が見受けられるのは、残念だと思います。

#### ④ グローバル事業 (SSH・GE-NET20) ・防災教育・読書指導・その他について

<生徒>

・図書館にいと上の階のオケ部の音がすごく聞こえてくるので、防音を徹底して欲しい。〇いくら注意されても給水機を直で飲む人をよく目撃し、衛生上の観点でも危険だと考えられるので水筒用の給水機を導入するなどの対策をして欲しい。

・グローバル事業や入り口の掲示板に貼ってある企画については、理系に偏っている気がします。僕は歴史が好きなので、とても興味がある企画が貼ってあるのをあまり見たことがありません。もっと社会系の企画を増やしてほしいです。

<保護者>

・グローバル事業は、部活動や塾などの兼ね合いで希望していたけれど諦めた子も少なくないと耳にしてみたいなと思ったので、希望する子は部分的にでも皆参加できるようなメニューもあるといいと思います。

・行事や学校公開などで学校を訪ねると、門を入ったところからすべての先生方や職員の方々が挨拶をしてくださりいつもとても気持ちが良いです。

・通用門が無人で開きっぱなしなのが気になります。不審者対策をしていただきたいです。

・模試や普段の時程と異なる日など、お弁当が要るのか要らないのかを前もって分かるようにしていただけると助かります。

・もっと積極的に保護者向けに公開して欲しい。過去には、『SSH 通信』や「Global-Journal」等発行されていたようだが、何故 2022 以降中止にされているのか？本日発表された「20 回高校化学グランドコンテスト」で 1 位入賞した事実等、またその探究内容等、内外に向け、もっとアピールして欲しい。

<教職員>

・SSHの将来の方向性をきちんと考える時期である。理数探究基礎は、現状のままでは年々意義が薄れるのではないかな。

#### 評価結果考察

##### ① 学校経営・学校生活全般

・「日比谷高校に入学してよかったと思う」については、生徒の92%(1ポイント増)、保護者の97%(1ポイント増)、教職員の79%(6ポイント増)が肯定的回答をしている。生徒・保護者は90%を超えているので肯定割合は非常に高い。教職員の回答の、「わからない」が15%(7ポイント増)である。教職員面接等を通じて、状況を確認していく。

・「教職員は生徒からの相談に適切に対応していると思う」については、生徒の肯定的な回答は90%(1ポイント減少)、保護者は85%(6ポイント減少)。教職員96%(11ポイント増加)。三者とも85%を超えるので、相談体制は適切に実施されていると考えている。

・「学校はいじめ防止対策に組織的に取り組んでいると思う」については、肯定的な回答が、生徒68%(2ポイント増加)、保護者54%(4ポイント増加)教職員85%(1ポイント減少)であった。昨年度と同様に、保護者の43%(5ポイント減少)、生徒の17%(7ポイント減少)が「わからない」と回答している。昨年度よりは減少しているが、いじめ防止対策問題は非常に重要なので、学校の取組みを生徒・保護者に理解してもらう努力を更に続ける必要がある。

・自由記述では、学校生活、学習、学校行事への要望が第一に挙げられた。今年度も、地球温暖化の影響もあり、特に空調の早期使用への要望が強く挙げられた。例年同様に、施設(自習室)と購買(品数)に関する要望も多数寄せられた。

## ② 学習指導・進路指導

・学習指導の「生徒の個性を伸ばし進路希望実現に結びつくような学習指導が行われていると思う」については、生徒88% (5ポイント増加)、保護者81% (昨年同様)、教職員の87% (9ポイント増加)であった。三者とも80%を超えた。本校の様々な取り組みが一定程度評価されたものと考えている。さらに、生徒・保護者から一層の信頼を得られるように授業改善に努め、学習指導の向上に励んでいく。

・日比谷高校の学習指導で評価できる項目については、生徒と教職員は「45分7時間授業」。保護者は「英語・数学の習熟度別授業」を高く評価している。昨年一昨年と同様、生徒は、「2年まで共通履修」、保護者は、「3学年の選択科目」、教職員は、「シラバス」の評価が最も低い。教科主任会等を通じて、分析・検討することが求められている。

・進路指導の「学校は生徒や保護者が必要としている進路情報を十分に提供していると思う」については、肯定的な回答が、生徒89% (2ポイント増加)、保護者85% (3ポイント増加)、教職員82% (1ポイント増加)と三者とも80%を超えているので、本校の進路指導への評価は高いと受け止めている。

・自由記述では、学習指導の項目にて、保護者からは、「高校生になって、学校の授業が楽しいと初めて感じたと言っていました。小・中学校は、学び合い活動も授業発表も「いかに核心をつかず外層で伝えるか」を意識しないと怒られたので苦しかった。しかし、今は誰もそれをしていない。活発な意見交換を聞いているだけで楽しいし、自分には無かった考えが生まれることが一番楽しい。」と言っていました。進路指導の項目にては、生徒からは、「自分の担任以外がどんな指導をしているか分かりませんが、自分の担任は面談でも個々の進路に寄り添い、サポートしてくれるので、とても良いと思っています。また、始業式や終業式での進路部の話もためになります。」等、令和7年度卒業生や保護者からは、感謝の声が多かった。昨年同様に、授業や講習、進路指導、三者面談に関しては、評価して頂ける声が多くみられた。この声が示すように、例年以上の進学実績を残せたと受け止めている。また、例年同様に、東大、医学部医学科、京大、一橋大、東京科学大、以外の進路情報及び下位層の生徒に対する学習指導・進路指導の充実を求める意見も多かった。

## ③ 生活指導・学校行事・部活動

・「生活指導の方針が明確で、それに基づいた指導が行われていると思う」への回答は、生徒82% (3ポイント増加)、保護者60% (15ポイント減少)、教職員66% (20ポイント増加)と、生徒からは、評価を得ている。一方、分らないという回答が、保護者38% (17ポイント増加)にあるので、保護者等で周知説明する必要がある。

・日比谷高校の生活指導で評価できる項目は、「生徒の自主性や自律性を育てる指導」の外は、三者ともに半数を超えない厳しい回答結果となった。(昨年度同様)全ての項目で早急の対応を図ることが急務であるとする。

・「学校行事は生徒の個性を伸ばし豊かな人間性を育てていると思う」については、今年度も昨年に続いて従来通り、体育大会、合唱祭、星陵祭を実施した。この結果、肯定的な回答が、生徒92% (5ポイント増加)、保護者96% (1ポイント増加)、教職員95% (5ポイント増加)であった。肯定割合は、三者とも90%を超えるので高く評価されていると考える。

・「部活動は教員の適切な指導の下で生徒の自発的・自治的な活動が展開されていると思う」については、生徒88% (3ポイント増加)、保護者85% (1ポイント増加)、教職員76% (11ポイント増加)と肯定的な評価である。生徒・保護者とも貴重な時間であると受け止め、高評価につながったと考えている。

・自由記述では、例年提出されている意見である、生活指導を「もっと厳しい指導を求める」と「生徒の自主性を重んじた指導を」との意見が寄せられることが少なかった。また、例年同様に「校舎内の清掃の徹底を求める」との意見も多かった。

・部活動については、生徒・保護者・教員の三者がともに貴重な時間を過ごせたとの理解を示したコメントが多かった。しかし、今年度も顧問の部活動に対しての関わり方の違いに、不満を持っている生徒、保護者が一部に見受けられた。

## ④ グローバル事業 (SSH・GE-NET20)・防災教育・読書指導・その他

・「スーパー・サイエンス・ハイスクール (SSH) の取り組みは生徒の知的探究心の向上に役立っていると思う」については、肯定的な回答が、生徒72% (6ポイント増加)、保護者79% (4ポイント増加)、教職員69% (4ポイント減少)と三者とも65%を超え、ほぼ肯定的な評価である。本評価結果に基づいて、SSH の取り組みは生徒の知的探究心の向上に役立っていると考えられる。

・「東京 GE-NET20 の取り組みは生徒の知的探究心の向上に役立っていると思う」については、肯定的な評価は、生徒75% (11ポイント増加)、保護者75% (10ポイント増加)、教職員89% (7ポイント増加)であった。三者とも75%を超え、肯定的な評価である。本評価結果に基づいて、東京 GE-NET20SSH の取り組みも、SSH同様に、生徒の知的探究心の向上に役立っていると考えている。

・「防災訓練、防災講話などを通して自分と他人の命を守る態度の育成を図っていると思う (防災教育)」については、肯定的な回答は、生徒81% (4ポイント増加)、保護者65% (2ポイント増加)、教職員85% (2ポイント増加)であった。防災教育は、自分や家族、地域と関わりのある人の命を守る悉皆訓練の場でもある。生徒、教職員は肯定的な回答が80%を超えた。保護者には、実施内容や方法を丁寧に説明する必要がある。

⑤ 学習時間・塾や予備校に関して(生徒のみ)

- ・学習時間は、学年の進行に伴って増えている。
  - 3年:3時間以上は83%(昨年72%、一昨年76%)
  - 2年:3時間以上は24%(昨年29%、一昨年26%)
    - 1時間～3時間は75%(昨年61%、一昨年60%)
  - 1年:2時間未満は60%(昨年63%、一昨年60%)
    - 2時間～2時間半は40%(昨年44%、一昨年35%)
- ・通常時に塾や予備校に通っていない生徒の割合は、
  - 3年:19%(昨年21%、一昨年20%)
  - 2年:41%(昨年28%、一昨年32%)
  - 1年:64%(昨年59%、一昨年57%)

⑥ ライフ・ワーク・バランス(保護者・教職員のみ)

- ・「教職員は、自ら計画的・効率的に仕事を進め、ライフ・ワーク・バランスの実現を図っているか」については、肯定的な回答は、あまりにも少なすぎる。保護者53%(2ポイント減少)、教職員30%(4ポイント増加)である。より良い教育の実現のためにも、教職員のライフ・ワーク・バランスの改善が急務である。

⑦ その他

- ・自由意見は、1,061件(昨年度1,266件、一昨年度966件)であった。総件数は、昨年度に比べて205件減少した。記載量は、昨年度と同等であった
- ・自由意見については、学習指導・進路指導、生活指導・学校行事・部活動等、様々なご指摘はあったが、建設的な意見が多かった。生徒、保護者の学校に対する期待と重く受け止めている。

IV 学校運営連絡協議会の成果と課題(学校評価を含む)

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・進学指導重点校、東京 GE-NET20 の指定校及びスーパー・サイエンス・ハイスクールとしての具体的な取組や日常の教育活動について、保護者や地域及び学校関係者からの理解を一定程度深めることができたことと受け止めている。特に理数探究基礎・理数探究を含めた探究活動及び研究とグローバルリーダーの育成に関して、教育改革に伴う学習活動の開発・改善の取組を理解いただいた。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・進学指導重点校、東京 GE-NET20 の指定校及びスーパー・サイエンス・ハイスクールとしての特色を伸長するために、組織的、計画的に授業の改善や教育活動の改善をさらに図り、生徒・保護者・都民の期待に応える。特にグローバル社会のなかで真にリーダーとなる人材育成について、さらなる課題をいただいた。

V 学校運連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

(1) 学校運営

- ・企画調整会議及び教科主任会議を充実させて、学校改革を組織的に推進する。
- ・主任を中心に、学校経営計画に基づく各分掌のマネジメントサイクルを整備する。

(2) 学習指導

- ・教科チームとして授業内容・授業進度・定期考査問題の共通化の精度をより一層高め、集団の学びと個の学びのバランスを構築し、日比谷の教科マネジメントを確立する。

(3) 特別活動

- ・行事準備時間と部活動時間との割り振りを適切に行い、効果的・効率的な運営を行い、部活動の適正実施により、学習や行事との両立を図り、質の高い学校行事・部活動を実現する。

(4) 生活指導

- ・規律正しい学校生活をおくることにより、規範意識をさらに高め、服装や身だしなみにも注意して、学校行事・部活動と学習との両立を図る。

(5) 進路指導

- ・実力テストや外部模試に基づく組織的な面談や相談、生徒や保護者への計画的な進路情報の提供を通して進路指導を行うとともに進路指導室を有効に活用する。
- ・進学指導検討会等で、生徒の成績データベースを基に具体的な指導内容や指導計画を検討する等、学校全体の組織的な指導により、生徒の進路希望を実現する。

(6) 健康・安全

- ・スクールカウンセラーを活用し、生徒の心のケアなど、教育相談機能の充実を図る。
- ・関係機関と連携して、避難訓練・避難所設営・防災講話などの防災教育活動の充実を図る。

VI 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 9人

(2) 学校がよくなったと答えた外部委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
3	4	0	0	0	0	2

(3) 協議委員の評価アンケート・コメント

- ・以前にも申し上げたが、テーマが広すぎて、深い議論ができていない状況。従って、年一回は、テーマを絞って深い議論が出来るようにしたらどうか。
- ・期待が大きいのにに対して、多忙な状況にも拘わらず、かなり十分な対応をしている。学校運営には、大きな評価をすることができる。
- ・引き続き一層の発展を祈っております。
- ・先生方、協議委員の皆様、お忙しい中せっかく集まっておられますので、1時間30分の中で実質的に議論をしても何らかの気づきが得られるように、各分掌のテーマを網羅的に扱うのではなく、一つ二つの分野を絞ってもよいかと感じました。とは言え、個人的には、より深く学校のことを知る機会となり、得難い経験をさせていただきました。AIでみんなが楽できるとよいですね。ありがとうございました。
- ・先生方が熱心に指導し、生徒たちも個性豊かに育っているように思われます。
- ・改善の努力と成果がうかがえることに、心強いものがある。生徒たちの向上心と姿勢、これを支える保護者の熱意に大いに期待。校長をはじめ教職員の方々の努力に敬意を表したい。

VII 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

- ・開催形態は、対面式である。職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加の機会は、設けなかったが、学校運営連絡協議会で出た意見は、分掌会にて検討し、改善事項を企画調整会議に挙げていく方式をとった。